

海と日本 PROJECT in 長野 海の恵みを届け隊!

～海の森が育んだ信州海ごはん～

山に囲まれた信州にとって、海は「憧れの場所」。その海がいつまでも美しく、恵み豊かであり続けるために、さまざまな海洋問題を自分の問題としてとらえ、信州からアクションを起こそうと活動している「海と日本プロジェクトin長野」では、今年も8～9月に県内の小学校5・6年生を対象にした学習イベントを行いました。今回は「海の恵みを届け隊!～海の森が育んだ信州海ごはん～」と題し、19人が参加。3回の学習会を通して、信州の川と海のつながりや海の変化、自分たちができる行動などについて学んだイベントの概要を紹介します。



1日目 8/29 上田市 海につながる川の学習

身近な自然が豊かな海をつくっている

初日は上田市のサントムゼーに集まり、結団式に続いて、身近な自然のことから学びました。市内の浦野川で水質や生きものを調べ、きれいな川がたくさんの生きものを育み、海を豊かにしていることを学びました。



海水温の上昇による海の変化、そして、川から流れてきたごみが網に

かつては、真夏でもイワシやアジがよって捕れたそうですが、近ごろは、海水温の上昇により、魚が別の場所に移動してしまうなどの理由で、なかなか魚が捕れないそうです。新潟県水産海洋研究所によると、日本海は100年前と比べ、海水温が1.7℃も上昇しています。この日、いざいざにかかっていたのは、魚やカニ、貝が全部含まれても10匹はいないか、それよりも多きものが多いです。「この中には、長野県の川から流れてくるものもあるんですよ」と、地元漁師で「かきさき田舎体験交流促進協議会」代表の坂本善さん、地球規模の環境問題や海洋プラスチックごみ問題が身近な海にも影響していることを学びました。



3日目 9/26 塩尻市 総合学習発表会

今からやろう! 私たちができること

最終日は総合学習発表会。これまでの学習会で学んだことをグループごとに発表しました。「プラスチックごみを出さないために、ピロール袋を使わないようにする」「使い捨てのものをなるべく使わない」「二酸化炭素(CO2)を出さないようにし、廃物を人工的につくる」など、自分たちができることを、グループごとに発表しました。



2日目 9/5 新潟県上越市 海の学習

漁船に乗って刺し網漁を見学

2日目の9月5日は、新潟県上越市へ。最初に柿崎漁港で漁船に乗り、沿岸で行っている「刺し網漁」の様子を見学しました。刺し網漁は、魚の通り道に細長い帯のような網を仕掛け、通せんぼするように魚を捕る漁法です。



海なし県の信州ですが、さまざまな形で海とのつながりを学んで感じた子どもたちも、海の影響をこれからも守るために、自分が今後何をすべきかを考える充実の3日間の学習となりました。



魚をさばってみました!

漁のことを学んだ後は、近くの公民館で台所を借りて、日本海で捕れた魚やイカをさばくのに挑戦。魚はみそ仕立ての「浜汁」に、イカはバターで炒めて、お昼にいただきました。海の恵みって、本当においしい!



海の様子が変わってきている

食べ終わってから、坂本さんに海のお話の続きを聞きました。昔と今では、海の様子が変わってきているのだそうです。「砂浜が浸食され、昔より海岸が近くになっています」「本来は南の温かい海で捕れる魚が、最近では上越の海でも捕れるようになってる」。人間の営みが、自然を大きく変えているんだと思うよ、という坂本さんのお話が心に響きました。

海の「砂漠化」って何だ?

上越市立水産博物館「うみがたり」では、新潟県海洋水産研究所の研究者、濱岡秀樹さんに海の植物のことを学びました。たくさん海藻、海草が茂る「藻場」は、陸上の動物にとっての「森」と同じ。でも最近では、その大切な藻場が、地球温暖化の影響などで減っていて、「海の砂漠化」が心配されているのだそうです。



子どもたちが考えたキャッチフレーズつきの海のポスター広告。

3日間の学習で感じたこと、海への思い、これから目指す未来の海。また、新型コロナウイルスが収束したら、みんなの好きな海に多くの人に来てもらえるようにとの思いが詰まっています。3日間の活動の写真を文字を入れたし、絵を描いたりしてポスターを作りました。



テレビ番組「海につながる長野県」 NBS 毎週日曜 21:48～21:54 放送中(休止の場合あり)

海と日本 PROJECT とは?

「海と日本プロジェクト」って知っているかな? みんなが暮らしやすい日本の未来には海があって、みんなの遊びの場になっている。食べものになるたくさんの魚や貝などのすみかになっていたり、日々の生活を支えています。でも、人間のせいで海が汚れたり、魚が減ったりして、海に元気がなくなってしまうたら、みんなの暮らしはどうなるのかな? このプロジェクトは、みんなに「海が困っていること」を知ってもらって、みんなで海を助け、元気を海を未来に残すために日本財団が取り組んでいる活動だよ。

海の恵みを届け隊! 詳しい活動は公式ニュースサイトで記事をチェック。 海と日本 長野

海を学ぼう! 海をキレイにしよう! 海を味わおう! 海を体験しよう! 海を表現しよう! の五つのアクションを全国で推進しています。

海に学ぶ情報はこちら



- 主催 / 海と日本プロジェクトin長野県実行委員会
- 運営 / 県民放送、(公財)長野県みらい基金
- 後援 / 長野県、長野県教育委員会、長野市
- 協力 / 県民放送A-Corp、(公財)富たのま財団